

第19回統一地方選挙への取り組みに心より敬意をこめて

ご安全に。加盟組合・構成組織、県本部・県センターの皆さんの連日のご奮闘に心より敬意を表します。

第19回統一地方選挙の前半戦が4月7日（日）、後半戦が4月21日（日）に全国の各級議会議員選挙区で施行されました。

前半戦（県議会議員・政令指定都市議会議員）には基幹労連の組織内・準組織内候補者として20名の候補が闘いに臨み、17名の方々が議席を勝ち取られました。

また、後半戦（市町村議会議員）では、基幹労連組織内候補者として30名の候補が闘いに臨み、30名全員の方々が各市町村議会の議席を獲得されました。全ての組織と仲間が一丸となって難しい環境の中であっても、力の限り闘い抜かれた結果に心より敬意を表します。言葉には言い表せないご苦労もあったと拝察します。大変お疲れ様でした。

かつて「地方の時代」というスローガンがありました。1970年代から提唱され始め、幾度となく名を変え内容を変えながら謳われてきた言葉ですが、現在もその意図するところは脈々と地方自治の底流に流れています。地方の活性化が我が国全体の活性化と発展につながり、その結果、私たち働く者や生活者の安心と安定につながっていきます。

第19回統一地方選挙への取り組みの結果、私たち働く者・生活者を代表する多くの仲間を各級議会に送り出されたことは、私たちの手で、さらなる「地方の時代」に向け力強く漕ぎだした証左であり、全ての組織、仲間のご奮闘に改めて敬服する次第であります。次はこの勢いをそのままに、国政選挙の場に歩を確実に進めていかなければなりません。

第19回統一地方選挙にかけた熱い思いと成果を国政選挙につなぎ、私たち働く者・生活者が安心して安定した生活を送ることができる社会を創り上げるスタートラインに立たなければなりません。

7月に迫った第25回参議院議員選挙比例区において、基幹労連推薦候補予定者「田中ひさや」への支援を確実に固めるため、対話活動等の徹底を通じた定着活動を着実に進めることは勿論のこと、組織として決めたこと、約束したことを完璧に成し遂げましょう。

基幹労連の全ての組織と、ともに目標に向かって努力を惜しまない27万組合員の総力を改めて強固にし、一丸となって7月の取り組みに全力を傾注していきましょう。

言うまでもありませんが、その取り組みの全ての基盤は、働く仲間の安全と健康の確保にあります。2019年に入って既に6件7人（報告ベース）の働く仲間が尊い命を職場や現場で失っており、危機的な状況から抜け出せていません。

改めて安全衛生活動の再強化と徹底をお願いします。

挨拶は「ご安全に」、仲間の顔を見て「ご安全に」、帰宅する際も「ご安全に」。

自分自身の安全確認はもとより、仲間の安全を想い、心を込めて「ご安全に」。

2019年4月22日
日本基幹産業労働組合連合会
事務局長 弥久末 顕